

第 34 期新潟市社会教育委員会議 会議概要

| 第 2 回社会教育委員会議 | |
|---------------|--|
| 開催日時 | 令和 2 年 7 月 22 日 (水) 午後 3 時～午後 5 時 |
| 会 場 | クロスパルにいがた 5 階 交流ホール 2 |
| 出席者 | <p>【社会教育委員】 岡 昌子、小川 崇、角野 仁美、木村 いほ子、雲尾 周、笹川 博人、出頭 久美子、田中 一昭、田中 宏和、山田 久美子、渡邊 彩 計 11 名 *敬称略</p> <p>【事務局】 地域教育推進課長、中央公民館長、中央図書館長、生涯学習センター所長、生涯学習センター所長補佐、生涯学習センター職員 3 名 計 8 名</p> |
| 内 容 | <p>1 開会</p> <p>2 生涯学習センター所長あいさつ</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 令和 2 年度関東甲信越静社会教育委員連絡協議会 第 1 回理事会 (書面開催) 報告 ○報告資料 1 に基づき、雲尾議長が書面開催された令和 2 年度関東甲信越静社会教育委員連絡協議会第 1 回理事会について報告しました。 【主な質問・意見等】 ・質問や意見はありませんでした。</p> <p>(2) 令和 2 年度指定都市社会教育主管課長会議および社会教育委員連絡協議会 (書面開催) 報告 ○報告資料 2-2 に基づき、雲尾議長が書面開催された令和 2 年度指定都市社会教育委員連絡協議会について報告しました。報告資料 2-1、2-3 に基づき、生涯学習センター所長が書面開催された令和 2 年度指定都市社会教育主管課長会議について報告しました。 【主な質問・意見等】 ・質問や意見はありませんでした。</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 第 62 回全国社会教育研究大会新潟大会 分科会について ○協議資料 1-1、1-2 に基づき、生涯学習センター所長補佐が分科会の運営、進行形式について説明し、新潟大会への参加案内を行いました。協議資料 1-3 に基づき、分科会での発表内容について発表者の角野委員が説明しました。 【主な質問・意見等】 ・事例紹介が 30 分くらい、質疑応答が 20 分くらいだが、時間は目安か。 →目安であり、コーディネーターの進行に一任する。</p> <p>(2) 第 34 期社会教育委員会議の研究テーマおよびスケジュールについて ○協議資料 2-1 に基づき、雲尾議長が第 34 期新潟市社会教育委員会議として、新型コロナウイルスを乗り越える社会教育のつながりについて、本年中に緊急提言という形で報告書をまとめて提出することについて説明を行いました。 →承認されました。 ○協議資料 2-2 に基づき、生涯学習センター所長が第 34 期社会教育委員会議のスケジュールおよび意見書への記入と報告書作成の流れについて説明を行いました。</p> |

| | |
|------------|--|
| <p>内 容</p> | <p>た。</p> <p>○協議資料 2-3 に基づき、各課から新型コロナウイルス感染症への対応と課題について説明を行いました。</p> <p>【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Zoom を利用した学習について、実際にどのような講座でどのくらい取り組んだか、またそれをほかの講座に広げられる可能性についてお聞きしたい。 → 公民館の家庭教育事業で、プレママ学校のオンライン同窓会を開催した。妊娠中に講座に参加した方を対象とした同窓会で、平日と日曜日に 2 回設定して実施した。日曜日は子どもやパートナーと参加したり、兄弟も画面に一緒に出たりした。Zoom の分科会機能を使い、母親だけ、父親だけの形も行った。妊娠中に皆で悩みを共有し合い、顔をよく知っている人たちだったため、最初からスムーズにでき、温かい講座となったのではないかと感じた。今後どう生かしていくかについては、全部オンラインでできるものもあるかもしれないが、一緒に集うものもあり、オンラインを使うものもありというハイブリッドにするのもいいのではないかと感想を持った。 → 生涯学習センター共催事業の大人向けプログラミング勉強会は、Zoom を使用したオンライン学習会として回数を重ね、技量も向上し、スムーズに開催できている。主催事業の市民大学では、来年、講師のみリモートによる講座の導入を検討している。 ・ 図書館で本が返却されたときに消毒をするか。 → 図書館では現在、本の消毒はしていない。棚にある本は誰かが手に取り戻すため、切りがないところもある。利用前の手洗いや、入館時のアルコールでの手指消毒をお願いしている。 ・ 図書館では 5 月 11 日からサービスを限定して再開したが、ほんぽーとの来館者の多くが予約せずに行ったため借りられずに帰ったという新聞記事を見た。意見として、例えば入館時間を何分と区切り、その間に本を探して貸し出しという対応も今後、考えられるのではないかと。 <p>5 意見交換</p> <p>○各課からの説明を踏まえ、報告書のテーマや趣旨について意見交換を行いました。</p> <p>【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 趣旨としては、安心して取り組めるとまでは言えなくとも、社会教育施設に来て、活動を継続してほしいということがある。それと同時に、新しい形、可能性について提案していきたい。公民館では、本人と子ども、あるいは本人しか来なかったところが、家族も一緒に交流できた。市民大学でも、最初の回は全員集まって関係性を作るが、例えば全 10 回中の 3 回くらいは、全部中継にして、移動時間などのロスをカットするなど、さまざまな工夫ができる。感染を避けるだけでなく、むしろメリットがある。講師への依頼の仕方としては、会場に来ての講義、あるいは中継での講義という 2 段階で、どちらかを選んでもらう形になると、地方にメリットが生まれる。それをどう社会教育の中に入れていくかについても提案したい。 ・ このような状況で、社会教育から人が離れないための方策を考えると、例えば図書館で長居ができない中、事前に相談に乗り、探し方や尋ね先を紹介するなど、コーディネートする窓口があるとよいのではないかと。集会を開きたいときは、できるだけ短時間にすることや、このような係が必要など教えてくれる案内所があるといろいろな活動がある程度できるのではないかと。 |
|------------|--|

| | |
|-------|---|
| | <p>やインターネットで簡単に調べられるような案内板などを立ち上げると便利なのではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だれにでも学ぶ場を提供していくのが社会教育であるとする、例えば、子育てで孤立してしまい、頼る人もいなく、子どもを叩いてしまうかもしれないという人たちが、来ることはできなくても、オンラインでつながることで虐待を防げるかもしれないという考え方もできるので、一緒にチャレンジしていきたい。 ・ピンチのときにたくさん生まれてきた財産を記録に残して、新型コロナウイルスが収束したときにいろいろなところで活用していくということが必ず未来につながっていくと思う。同時に、小学生からは、集うことの喜びを感じる。そこにいる人の言葉や表情など、空気感も含めて一緒に学ぶ、集うことの喜びというものを、今だからこそ強く感じている人がいる。ハイブリッドや、一緒に集まって学ぶことの喜びも、記録にして残していくことが大事であり、研究テーマと方向性に賛成する。 ・安心・安全の担保を大前提としながらも、社会教育が大事にしてきた直接的な集いというものをいかに維持していくか。ただ、その中でも、情報通信機器等を活用しての新しい形態を組み合わせたハイブリッドの形態というものも一緒に提言していきたい。 ・既存の課題や方策にとどまらず、社会が変化している今だからこそ、社会教育が何を担っていくべきかについて議論することが今後生きていくのではないか。コロナ禍で山積してきている新しい地域課題に対して、どのように社会教育としてアプローチするかというところを議論すべきと思う。差別に対してどうするか、またハイブリッドな学びの場を見越したとき、地域ではICTリテラシーの格差をどう埋めていくかが課題となっているが、それに向けて社会教育としてどのように学びの場を作るかというところも大事な視点であると思う。 <p>6 その他</p> <p>7 閉会</p> |
| 傍聴者 | 1名 |
| 会議資料等 | <ul style="list-style-type: none"> ・第34期新潟市社会教育委員会議（第2回）次第 ・報告資料 1 令和2年度関東甲信越静社会教育委員連絡協議会 第1回理事会協議結果について（報告） ・報告資料 2-1 令和2年度指定都市社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会書面開催による各都市回答及び決定事項について（報告） ・報告資料 2-2 令和2年度 社会教育委員連絡協議会 協議題報告書 ・報告資料 2-3 令和2年度 社会教育主管課長会議 協議題報告書 ・協議資料 1-1 第62回全国社会教育研究大会新潟大会「分科会」運営マニュアル1 ・協議資料 1-2 第62回全国社会教育研究大会新潟大会「分科会」運営マニュアル2 ・協議資料 1-3 第62回社会教育研究大会新潟大会分科会事例発表＜内容案(骨子)＞ ・協議資料 2-1 第34期新潟市社会教育委員会議 研究テーマ（案） ・協議資料 2-2 第34期社会教育委員会議 スケジュール（案） ・協議資料 2-3 新型コロナウイルス感染症への対応と課題 |